西日本サイディング・News
2021年（令和3年）7月31日（第186号）

発　行
西日本サイディング事業協同組合
事　務　局
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-10-28 NKビル（旧下村ビル）6F
TEL 06-6121-7302
FAX 06-6121-7303
URL:http://www.ksk-net.jp/

令和3年度西日本サイディング事業協同組合通常総会
昨年度に引き続き、書面決議で実施

6月30日に予定していた令和3年度西日本サイディング事業協同組合定例総会は、昨年度と同様、役員や組合員各位を招集しての開催を中止して、書面による総会上程議案を審議する書面決議とすることが決定した。初めて書面決議となった昨年の定例総会から1年近くを経て、今年は対面での総会開催を行うべく協議・準備を進めていたが、5月段階の状況から判断して参集を断念した。

定例総会書面決議決定までの経緯

昨年度の通常総会は、コロナ禍によって、一堂に参集しての会議や催事が全国的にできない状況の中、初めての書面決議に踏み切った。「来年は必ず顔を合わせての総会を」と祈念しての開催断念であったが、残念ながら今年度も前回に引き続き、対面での開催はかなわなかった。

協同組合設立以来2度目の書面決議となった今回の通常総会は、昨年度にならって次のような手順で行った。

6月中旬、通常総会書面決議に関する書類（書面決議実施要項、通常総会議案書、議案書に関する資料、書面決議書）を事務局から組合員各位へ送付した。組合員は2021年6月25日までに、書面決議書に署名または捺印し、議案ごとに賛成または反対を明らかにして事務局宛に返信。この返信をもって総会に出席したものとみなされる。なお、期日までに返答がない場合は、議案に同意したものとする。総会の開催は過半数の返信をもって成立するものと定めた。

書面決議書による投票と議事および審議結果

通常総会の上程議案書は次の通りである。

第1号議案　令和2年度事業報告及び決算関係書類承認の件
第2号議案　令和3年度の事業計画及び収支予算承認の件
第3号議案　定款の一部変更の件
第4号議案　理事選任の件

書面決議書の出席者数は合計443人であった。会員444人の過半数に達しているので総会は成立。

審議は6月30日、横田理事長はじめ理事によってオンラインで行い、4議案に関する書面決議書の投票結果はすべて異議なく可決・承認されたことが確認された。総会終了後、議長の命で事務局が議事録を作成し、全組合員に結果報告を行う。

組合員企業の皆様のご理解・ご協力により、今回も円滑な決議進行で滞りなく総会を終えることができた。

厳しい状況でこそ組合の価値が発揮される

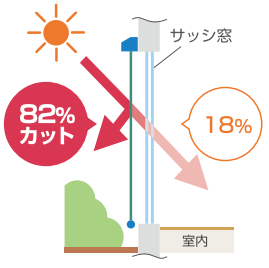
通常総会開催（オンライン審議）にあたり、横田会長は次のように挨拶を述べた。

「関西では、ここ最近は新型コロナウイルスの感染者が少しずつ減少してきているようではありますが、各地の大都市、特に東京はなかなか順調に減らない状況です。テレビのニュースでも、各地の繁華街の映像を見ると、人出は増える一方だという印象。正直なところを申し上げると、このままで収束に向かうとは到底思えない。にもかかわらず、この局面で東京オリンピック開催をはじめとしたいろいろな難題が待ち構えているわけです。建設業界も、今まさにウッドショックやアイアンショックなどのあおりを受け、先行きが不透明です。まだまだ非常に厳しい状況が続いていくと思います。しかしわれわれには、西日本サイディング事業協同組合、全国サイディング事業協同組合連合会と、苦労して育て上げた団体があります。皆さんと一致団結して難局を乗り切り、実りある業界にしていきたいと思っています。私も来年は古希で、業界で果たせる役割もだんだん少なくなるかもしれませんが、もうひと頑張りしたい。せっかく設立したわれわれの団体を一歩ずつでも発展させていきましょう」。

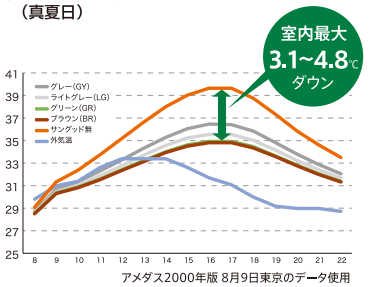
コロナ禍とはいえ、西日本や東日本、各支部における諸々の取り組みは粛々と進められている。苦境だからこそ、当組合にしかできない価値創出を実現していきたいものである。

SUNGOOD サングッド
窓辺の強い日差しをカットして日陰をつくる
「外付けロールスクリーン」
省エネ効果　日射熱カット　目かくし効果
SEIKI
サングッドは、窓からの日射熱を 最大約80%カットします。

◆サングッド設置効果



◆サングッド室温シミュレーション（真夏日）



セイキ販売株式会社 〒570-0014 大阪府守口市藤田町 2-2-3 TEL：06-6780-1700

組合員インタビュー

コロナ禍で得た新たな気付きで前向きに

企業体質、人材管理などに好影響

株式会社アシスト

今回は西日本中部支部の支部長および連合会の専務理事を務める、（株）アシスト（柴田雅好社長）の専務・小田哲也氏にご登場いただいた。アシストは、知多半島の漁師町・愛知県半田市にある、サイディング、屋根、サッシ工事を手がける企業。愛知・岐阜・三重をメインとしながらも「道さえあればどこにでも行く」と小田氏は言う。環境配慮のための取り組みや、コロナ禍でも常にメリットを見出す考え方について語っていただいた。

特色のある事業や取り組みは？

当社では、工場に専用機を入れてサイディングのラフカットとプレカットを行っているのですが、以前からかなり先進的に取り組んでいるのが、廃棄物削減です。

サイディングは、メーカーから納入された寸法のままでは貼れないので、現場で使用する寸法に合わせて切る必要があり、必ず端材（ごみ）が出ます。だから現場に運び込む前に、自社であらかじめ、端材になる分を大まかに取ってしまいます。これがラフカット。CADで建築寸法通り、パズルのピースのように部材を切るのがプレカットです。カットで出た端材を別の部材として再利用することで、廃材の排出量を約6割削減できています。

この取り組みによって、建築現場の廃材、粉塵、騒音がなくなり、環境にもよい上に近隣へ及ぼす影響も最低限にまで減っており、廃材処理費のカットまで実現しました。

プレカットは職人不足問題解決の一助にもなり、いろいろな面で救世主のような工法です。

コロナ禍の影響はいかがでしたか？

率直なところを言うと、あまり大きなダメージはありませんでした。私は他社と少し違う見方を持っているかもしれませんが、メリットのほうが多かったように感じます。

対面営業ができないことは、普通なら不利に働きますが、もともと昔からつながりのある取引先がたくさんあったため、仕事が減ることはありませんでした。むしろコロナ前までキャパオーバー気味になっており、コロナで多少減ったことにより、前年並みの通常の仕事量に落ち着いた感じです。

どんなメリットがありましたか？

コロナ禍だからこそ得られた新しい気付きが多数ありました。

私は専務として、会社業務の統括を社長から任されている立場にあります。しかし東京や大阪などへの出張があると通常、1日～2日はいつもの業務ができなくなって、社員の勤務状況、例えば誰が何をしていてどれだけ残業しているか、なども分からない状態でした。ところが会社にいる時間が増えたおかげで、問題点も含めいろいろなことが見えるようになり、社内管理がはかどりました。

結果、残業も減り、会社の業績も中身も、コロナ前より総合的に向上しました。他社でも、業績は落ちても出張や接待がなくなった分、経費削減できたというところは多いはずです。コロナがなければZOOMのような有用なツールを知ることもありませんでした。

そういうわけで、私はコロナ禍を最大限前向きにとらえています。私が並外れたポジティブシンキングというわけでは決してないと思います。口に出さない人も多い中、私はあちこちで声を大にして「こういう見方もあるよ」と言っているだけで。きっと世界でも多くの人がそう感じています。みんなが本当はなりたかった世界なんだけど、予想より早くそれが訪れたということではないでしょうか。

連合会活動に関しても同様でしょうか？

全国組織化の直後のコロナ拡大で、活動に支障が出ているのは事実です。しかし、動くのが1年遅ければ、設立準備はまともにできず、発足パーティーも実現しなかったと考えたら、十分前に進めていると思います。全国のサイディング工事業者がつながれる取り組みはどこにもなかったわけですから、とても貴重な存在ですし、私はポジティブに希望を持っています。

これから会社が目指す方向は？

業績では、中小企業としてある程度業界における地位を獲得できたと思っていますが、組織管理のシステムもきっちり構築して、会社の価値をさらに高めていきたいと思っています。コロナで一層その思いが強まりました。

これは当社の社長がよく言うのですが、目指すのは、社員の息子・娘が就職に困ったときに「うちにおいで」と言えるような会社。知り合いから自分の子どもを「お前のところで雇ってくれ」と言ってもらえるような会社です。私も同じ思いです。これを言われたらすごく嬉しい。そういう会社になりたいですね。

三省合同で検討会、省エネ水準引き上げの方向性

2030年に平均でZEH・ZEB（※1）を目指す

7月20日、国土交通省・経済産業省・環境省が合同で検討を行う「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会（※1）」が第5回目の会議を開催し、とりまとめに向け「脱炭素に向けた住宅・建築物における省エネ対策等のあり方・進め方（案）」を提示して議論した。新たに対策の進め方についてスケジュールが公開され、省エネ基準適合義務化は2025年の見通しを示した。

長期的目標は「ZEH・ZEB基準の水準の省エネ性能を有するストックの蓄積を図る」とし、中期的目標は「2030年における新築の住宅・建築物については平均でZEH・ZEBの実現を目指す」。

省エネ基準の適合義務化は、現行基準を「現状において少なくとも確保されるべき省エネ性能」として義務化の水準としつつ、各種基準や等級設定などを経て「引き上げ水準を検討する」とした。スケジュールでは、2025年度の適合義務化を経て、2030年度には基準を引き上げる。適合義務化に向け、来年度から補助制度やフラット35において適合を要件化する。

以前から指摘されていた住宅・建築物への太陽光発電設置義務化は今回盛り込まず、2050年に設置が合理的な住宅・建築物には太陽光発電設備が設置されていることが一般的となることを目指して取り組みを進めるとした。

※1　中期的には2030年、長期的には2050年を見据え、脱炭素社会の実現に向けた住宅・建築物におけるハード・ソフト両面の取り組みと施策の方向性を幅広く議論することを目的とし、2021年4月19日に第1回を開催。毎回ネット中継も実施している。

年度	住宅	建築物
2022	・補助制度における省エネ基準適合要件化 ・ZEH等や省エネ改修に対する支援の継続・充実 ・中小事業者の断熱施工の実地訓練を含めた技術力向上の取組	・補助制度における省エネ基準適合要件化 ・ZEB等や省エネ改修に対する支援の継続・充実 ・中小事業者の断熱施工の実地訓練を含めた技術力向上の取組
2023	・フラット35における省エネ基準適合要件化 ・建築物省エネ法に基づく誘導基準等の引き上げ BEI=0.8（再エネを除く）及び強化外皮基準 ・分譲マンションに係る住宅トップランナー基準の設定（目標2025年度） BEI=0.9程度及び省エネ基準の外皮基準	・建築物省エネ法に基づく誘導基準等の引き上げ 用途に応じてBEI=0.6又は0.7（いずれも再エネを除く）
2024	・新築住宅の販売・賃貸時における省エネ性能表示の施行 ・既存住宅の省エネ性能表示の試行	・新築建築物についての省エネ性能表示の施行 ・大規模建築物に係る省エネ基準の引き上げ　BEI=0.8程度
2025	・住宅の省エネ基準への適合義務化 ・住宅トップランナー基準の見直し（目標2027年度） BEI=0.8程度及び強化外皮基準（注文住宅TR以外） BEI=0.75及び強化外皮基準（注文住宅TR）	・小規模建築物の省エネ基準への適合義務化
2026		・中規模建築物に係る省エネ基準の引き上げ　BEI=0.8程度
	・省エネ基準について、遅くとも2030年度、誘導基準への適合率が8割を超えた時点で誘導基準のレベルに引き上げ ・あわせて誘導基準等の引き上げ	・省エネ基準について、遅くとも2030年度、中大規模建築物については誘導基準への適合率が8割を超えた時点で誘導基準のレベルに引き上げ、小規模建築物についてはBEI=0.8程度に引き上げ ・あわせて誘導基準の引き上げ

今日つれづれ

神戸　睦史〈ハウゼコ〉

先日、オリンピックが始まった。始まるまでの開催か延期か中止かの議論が、不思議なことに開会式と同時に消えた。コロナの感染者数は増加傾向なのに・・

世間では、変異型ウィルスに置き換わって、猛威を奮い始めている。オリンピックの有力選手達も、感染の為棄権を余儀なくされている。五年間様々なものを犠牲にして頑張って、予選を勝ち抜き晴れて国の代表になって来日したのに、まさかの感染で出場できないなんて、心中を察するといたたまれない気持ちになる。

ある国の同伴ドクターが感染して、選手にうつしてしまうという失態もあった。ドクターがワクチン否定派でワクチンを打っていなかったようだ。その国の大統領は怒り心頭の声明を出していたが、日本の首相が、同じようなことが起こった場合怒りをあらわにするかな？腹話術のような人よりこのような大統領のほうが人間味があるなと感じた。

賛否両論ある開会式だが、大坂なおみや八村塁を代表とする選手団は、日本の多様性を強く印象付けたように思う。

海外のメディアは、開会式の時に、観客席に人がいるように見えることに感動していた。建築雑誌で、ずいぶん前にこのことは知っていたが、実際に自分もそのように見えて、建築家の先見の明に感動した。

ソフトボールの落球したセンター、PKを外したなでしこ、決勝で敗れた柔道選手。いろいろなことがこれからもたくさんあると思うが、アスリートには罪はない。

オリンピックが終わるまでは、雑音をシャットアウトして、終わってから議論再開するとして、とりあえず、胸を熱くしながら応援することにしよう。

外壁用シーリング材「性能新時代」の幕開け。　オートンイクシード
EXCEED Technology

厳しい環境をクリアする新技術「ＬＳポリマー」

高耐久化する住宅外壁に合わせ、専用ポリマーの設計からスタート。
厳しい基準をクリアし、高耐久型樹脂「ＬＳポリマー」が誕生。
「ＬＳポリマー」を採用し、開発されたシーリング材が「オートンイクシード」
これまでの外壁用シーリング材の耐久性レベルを飛躍的に向上させることに成功しました。

※屋外暴露試験場（宮古島）での耐候性試験

AUTO オート化学工業株式会社　http://www.autochem.co.jp
大阪支店　大阪府吹田市南金田2-18-23　TEL.06-6821-8011 FAX.06-6821-8010
本　社　東京都台東区上野5-8-5 CP10ビル5階
東京支店　TEL.03-5812-7310 FAX.03-5812-7950

協会だより

役員会・広報部会・情報交換会のご報告（6月）

日時 6月16日（月）15：30～17：00
場所 Zoomによるオンライン会議

□広報部会

サイディングニュース5月号の内容検討
・通常総会の結果報告
・組合員紹介は（株）アシスト・小田氏へのインタビュー実施を決定
・トレンドニュース ほか

□役員会

○通常総会について
・書面決議書への回答期限を6月25日（金）までとし、総会実施を6月30日（水）14：30～に決定。
・同日15時から関西サイディング工事協会の通常総会（書面決議）を開催することを決定。
○シーリング委員会の活動状況について
○西日本サイディング事業協同組合のホームページ制作について

役員会・広報部会・情報交換会のご報告（5月）

日時 6月30日（水）14：30～15：00
場所 Zoomによるオンライン会議

・議案書と書面決議書への回答に基づき、理事による議案の審議と承認を行った。

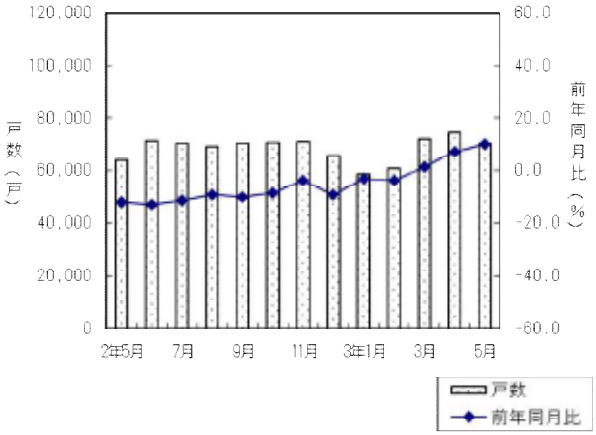
今後の予定

役員会・広報部会・情報交換会

日時 8月18日（水）15：30～17：00
場所 Zoomによるオンライン会議

建築物着工統計
（2021年5月の動き）

5月の新設住宅着工は，持家，貸家及び分譲住宅が増加したため，全体で前年同月比 9.9%の増加となった。また，季節調整済年率換算値では前月比 0.9%の減少となった。



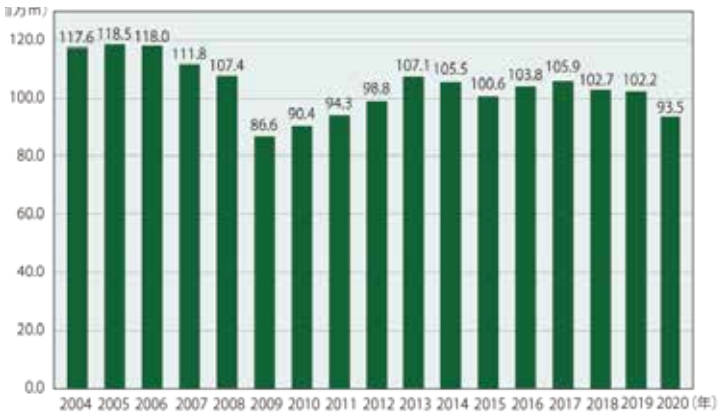
新設住宅総括表

		戸数			床面積の合計		
		戸	対前月比(%)	対前年同月比(%)	千平方メートル	対前月比(%)	対前年同月比(%)
	新設住宅計	70,178	△5.8	9.9	5,852	△3.5	12.6
建主別	公共	1,417	△9.9	121.1	75	△15.4	50.5
	民間	68,761	△5.7	8.8	5,777	△3.3	12.3
利用関係別	持家	22,887	0.0	16.2	2,714	0.2	15.8
	貸家	25,074	△13.0	4.3	1,151	△14.1	5.4
	給与住宅	791	135.4	129.9	37	54.6	27.5
	分譲住宅	21,426	△4.7	8.4	1,950	△2.1	12.6
資金別	民間資金	63,215	△6.8	9.0	5,249	△4.2	13.0
	公的資金	6,963	4.3	19.5	603	2.8	9.5
	公庫住宅	1,007	△34.0	204.2	57	△33.7	126.0
	住宅金融機構融資住宅	2,941	11.3	5.0	294	10.5	6.5
	都市再生機構建設住宅	147	-	△12.5	10	-	3.3
	その他の住宅	2,868	14.2	13.5	242	3.1	1.2
構造別	木造	41,156	0.2	15.5	3,983	△0.2	15.8
	非木造	29,022	△13.3	2.9	1,869	△9.9	6.5
	鉄骨鉄筋コンクリート造	275	△31.8	△26.5	14	△42.5	△56.2
	鉄筋コンクリート造	19,119	△18.6	4.2	1,163	△15.3	14.4
	鉄骨造	9,539	0.5	1.9	683	2.1	△1.8
	コンクリートブロック造	43	34.4	△8.5	4	20.0	△4.9
	その他	46	△17.9	△41.8	5	37.8	△18.2

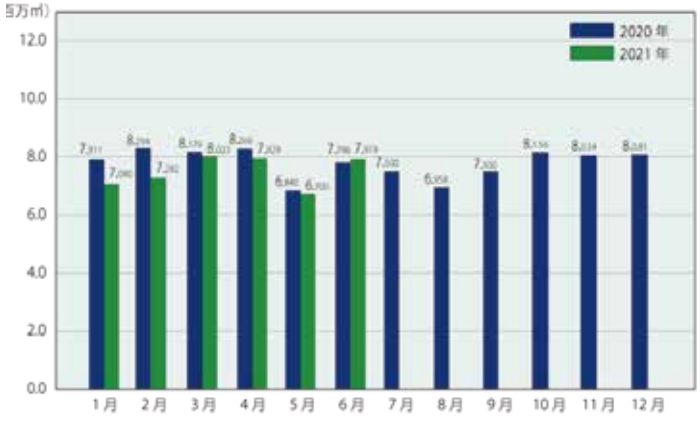
※国土交通省 建築着工統計（2021.6.30 発表）より
http://www.mlit.go.jp/report

窯業系サイディング販売量

年度別販売量



月度別販売量



日本窯業外装材協会

施工品質の最高峰をめざし感謝の気持ちで信頼に応える
サイディング工事の神保工業所

有限会社神保工業所
〒630-2342
奈良県山辺郡山添村広代651
TEL. 0743-85-0036
FAX. 0743-85-0019
E-mail : info@kanbo.jp.net